

# 基地返還・負担軽減に向けた取り組み

## ◆抗議・要請

米軍機による事故や夜間騒音、外来機が飛来し、航空機騒音が激化した際は、沖縄防衛局や米海兵隊第三海兵遠征軍司令官など、県内の関係機関へ直接抗議要請を行うほか、状況に応じ、官房長官をはじめとする関係閣僚に対して直接抗議・要請を行っております。



抗議・要請先：沖縄防衛局長



要請先：内閣官房長官

## ◆普天間飛行場負担軽減推進会議・作業部会



第5回 普天間飛行場負担軽減推進会議



第11回 普天間飛行場負担軽減推進会議作業部会

普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と返還されるまでの間の危険性の除去及び基地負担軽減の実現に向けた取り組みとして、政府、沖縄県、宜野湾市の三者で構成される『普天間飛行場負担軽減推進会議・作業部会』が開かれております。その成果の一つとして、2014年に普天間飛行場所属のKC-130空中給油機全15機の岩国飛行場への移駐が完了しました。また、オスプレイ等の県外・国外への訓練移転については、2016年度より、これまで12回実施しており、市民が実感できる負担軽減策として今後とも強く求めてまいります。

## ◆普天間飛行場 基地視察



加藤 勝信 内閣官房長官



岸 信夫 防衛大臣

政府や関係機関の来訪に際しましては、市庁舎屋上や嘉数高台公園展望台から普天間飛行場を視察していただき、市街地に囲まれた普天間飛行場の危険性や、基地被害状況を説明した上で、一日も早い返還の必要性について、理解を求めています。また、速やかな運用停止、返還までの間の負担軽減の実現に向けた取り組みを要請しております。

## ◆ 宜野湾市訪米要請行動

過重な基地負担の現状と、これ以上普天間飛行場を固定化・継続使用することは絶対にあってはならないという地元の生の声を直接伝え、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と、返還されるまでの間の危険性除去及び基地負担軽減を要請、早期の解決を訴えるため、宜野湾市は訪米要請行動を実施しております。訪問先では、国防・国務省等の米国政府関係者をはじめ、連邦議会議員、シンクタンク関係者と意見交換を行い、早期返還の必要性を共有するとともに、返還に向けて日米両政府が協力して取り組んでいくことを再確認しました。

また、面談の際には、返還後の跡地利用を見据えた人材育成の観点から取り組んでいる、本市中学生の海外留学事業について紹介するとともに、留学時に米国政府関係者との面談や施設見学等が実現できるよう米側の協力を要請しました。



【令和元年度】国務省  
マーク・ナッパー 国務次官補代理



【令和元年度】CSIS  
ニコラス・セーチャーニ  
日本部副部長兼フェロー

## ◆ クォーターリーミーティング

市内に所在している普天間飛行場、キャンプ・フォスター、海軍病院の各司令官と、現地レベルで解決可能な議題を協議する場として「クォーターリーミーティング」を開催し、お互いが抱える諸課題の解決に向け建設的に取り組んでおります。

その成果として、津波災害時に一般市民が避難のため基地内に通行できるよう協定が結ばれました。その後、実際に一般住民が基地内に立入りをし、避難経路の確認と訓練を実施しました。



協定により、災害時において赤色で示された避難ルートが一般住民が利用できるようになりました。

## ◆ 意見交換会（普天間ミーティング）

市長と普天間飛行場司令官の二者間において、普天間飛行場から発生する騒音問題をはじめとする基地負担について、現地レベルで解決可能な議題、あるいは協議が必要な議題について意見交換会を行い、その軽減につなげていくことを目的としております。

意見交換会では、市民の負担が大きい夜間10時以降の騒音等の問題について、日米で合意された航空機騒音規制措置を遵守するよう求めるなど市民生活への配慮を要請しております。



## ◆ 普天間飛行場東側沿いの土地の返還

### 完了 宜野湾11号道路整備事業

平成29年7月に返還された普天間飛行場東側沿いの土地（約4ha）において、道路網の強化・国道330号の渋滞緩和を目的とした市道宜野湾11号の整備を進めてきました。

同市道の佐真下地区については令和2年12月21日に道路供用を開始、上原～宜野湾区間（約2キロ）については令和3年2月末に道路整備を完了し、同年3月28日に道路供用を開始しました。



返還部分： ▼ 佐真下地区（約990㎡）  
 ..... 東側沿いの土地（約4ha）

（佐真下地区）道路開通式



（2キロ区間）道路整備状況（R3.3）

## ◆ 防衛施設周辺整備事業

宜野湾市では、防衛省による補助事業において、学校や学習等供用施設、消防署等、公共施設の整備事業を行っております。

### 進行中 新城・中原地区学習等供用施設建設事業

※新城地区学習等供用施設



### 完了 志真志小学校校舎改築事業（除湿換気設備）



### 完了 大謝名児童センター建替事業



### 進行中 消防署我如古出張所改築事業



※パースはイメージ図であり、実際の整備とは異なる場合があります。

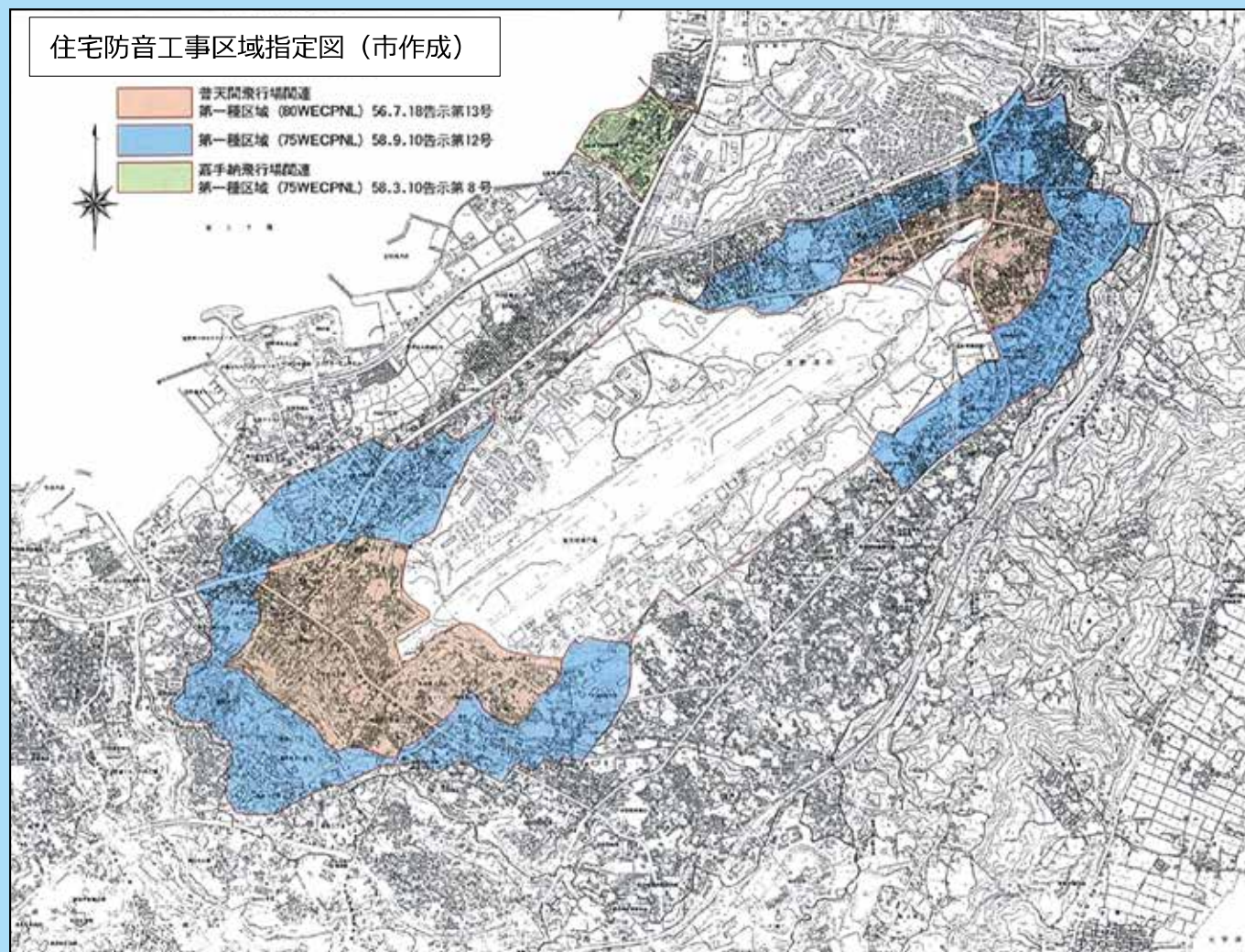
## ◆住宅防音事業の補助について

「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、在日米軍の飛行場の運用に伴う航空機による騒音の障害を防止又は軽減するために、国による住宅防音工事の助成が行われております。

宜野湾市基地渉外課窓口にて、「住宅防音工事希望届」を配布しております。

※住宅防音工事の助成にあたっては、対象区域や建築年月日等の条件がございます。詳しくは、  
 沖縄防衛局 住宅防音課へお問い合わせください。

沖縄防衛局 住宅防音課 ☎921-8150



対象となる地域	区域 (W値)	工事区分	対象となる住宅
普天間飛行場周辺	80W	防音工事	昭和58年9月10日までに建築された住宅
		空調復旧	防音工事が完了して10年以上経過した住宅
		建具復旧	
	75W	防音工事	昭和58年9月10日までに建築された住宅
		空調復旧	防音工事が完了して10年以上経過した住宅
		建具復旧	

## ◆住宅防音事業の実施状況（令和元年度末まで）

防衛施設名	対象世帯数	実施済世帯数	実施率
普天間飛行場	約11,500	約11,100	97%

※実施済世帯数：一度でも防音工事を行った世帯数